

釜石警察署協議会 令和4年度答申

令和4年度の釜石警察署協議会への諮問事項「高齢者の安全を守る対策」について、各委員から意見をいただきありがとうございました。

いただいた意見を下記のとおり要約しましたので、釜石警察署協議会から釜石警察署への答申として受け賜われます。

1 高齢者が自主的に講習受講する対策の強化

高齢者の方々が自ら進んで講習を受講しなければ効果が薄いと思われます。

よって、『高齢者は孫に弱い』という特性を活かして、高齢者と子供たちが一緒に参加できる講習イベントを開催することで、高齢者の方々が積極的に講習を受講すると思いますので企画していただきたい（講習は交通安全関係に限らず、特殊詐欺関係の講習も含む）。

また、交通安全に関する講習においては、走行中に不安に思うシーンや場所のヒアリングや免許の返納という考え方もあり、その代替えとして充電式のシニアカーを使用するという手段もあることを教示していただきたい。

2 関係機関・団体との連携強化

介護サービス業者、社協、生活応援センター、老人クラブ、市町など、高齢者と関わりのある機関・団体と連携を強化して、各種施策を講じれば効果的であるととも、毎月、検針がある水道、ガス、電気又は郵便配達員の訪問の際、声かけして見守る環境の構築に努めていただきたい。

3 高齢者交通安全対策機器の活用広報の強化

老人クラブ、各町内会、介護サービス施設など高齢者と関わりのある機関・団体に対して、高齢者交通安全対策機器が貸出しできるほか、受講することにより、危険を予測できる能力を養うことができることを積極的に広報していただきたい。

4 釜石署管内の交通事故発生状況の広報強化

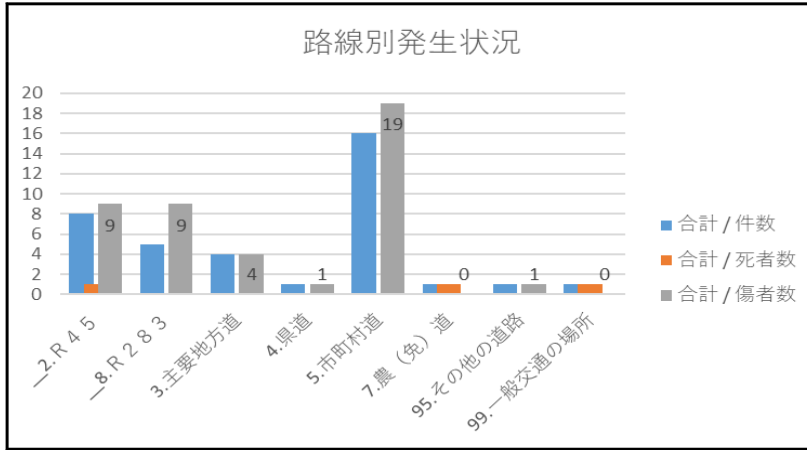
どの場所でどのような交通事故が発生しているのか、管内の交通事故発生状況を積極的に広報して、交通事故多発地帯において注意を促していただきたい。

5 効果的な特殊詐欺の未然防止活動の強化

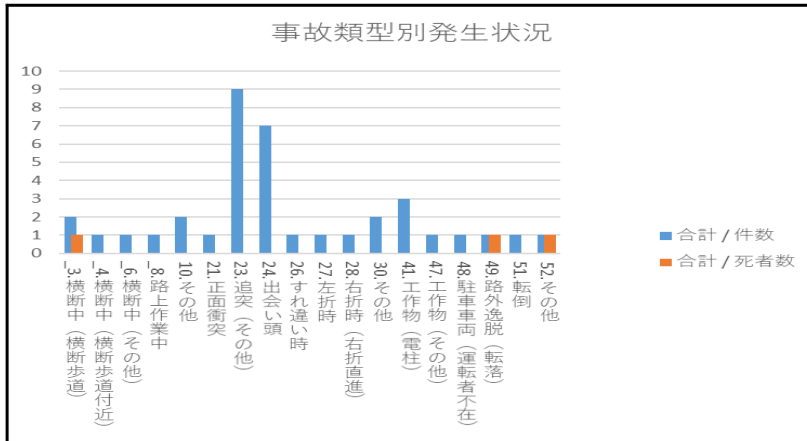
地元の特徴を活かした詐欺被害防止ポスターや、事件の概要の画像化広報、電話の便利機能を活用した不審電話への対応拒否要領の教示、具体的な手口事例の繰り返し広報、テレビ等のマスメディアを活用した広報など効果的な特殊詐欺の未然防止活動の強化に努めていただきたい。

1 令和4年中の事故発生状況

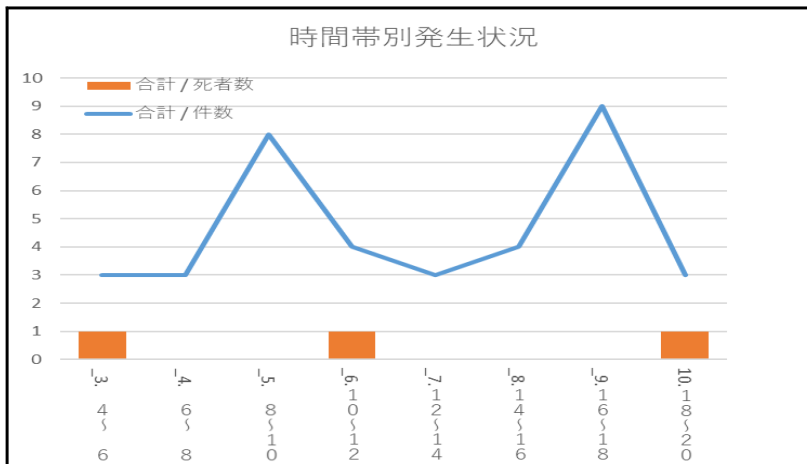
人身事故	死者数	重傷者数	軽傷者数	物損事故
37件(+2)	3名(+3)	9名(+1)	34名(+1)	537件(-68)



○ 市町道での発生が全体の4割以上を占める。



○ 追突事故が最多(24%)のほか、車両単独、車対人、出会い頭が多い。



○ 夕暮れ時間帯(16~18時)約24%、出勤時間帯(8~10時)約22%。